

意見・要望等	回答
平成27年11月9日（月）中央公民館	
<p>1. 広報に片仮名文字が多く、理解できないことが多い。高齢者にも優しい広報であってほしい。</p>	<p>外国から入ってくる言葉がふえ、的確に日本語で表現できないものの中にはあるため、市広報ではどうしても使わざるを得ない場合はカタカナで表記しています。カタカナ語を使わなくても簡潔に説明できるものは、極力、日本語で表記するとともに、併用表記や注釈をつけるなど、市民にご理解いただけるよう、わかりやすい言葉遣いを心がけてまいります。</p>
<p>2. 地方創生に対して大館市の方向性が見えない。伝わってこない。</p>	<p>本市の喫緊の課題である人口減少問題を克服し、地方創生の実現に向けた戦略的施策を進めるため、昨年12月に「大館市総合戦略」を策定しました。今後、本戦略に基づき、具体的な施策を実施してまいります。</p>
<p>3. 大館市の介護保険料は適正なのか。入所待機者を出さないため、施設を建てるために値上げすると聞くがどうなのか。</p>	<p>介護保険料は、介護サービスの利用見込みと高齢者人口の推移を踏まえ、健全な介護保険財政を運営する上で必要な保険料として決定しています。</p> <p>入所待機者の解消を図るための施設整備は、建設する法人等の資金により整備されており、今年度からの介護保険料の引き上げは、要介護者数の増加など介護サービスの利用増加によるものです。</p> <p>今後も高齢者人口の増加が見込まれることから、介護が必要にならないための予防施策や生活支援施策の充実を図り、介護保険料の抑制に努めてまいります。</p>
<p>4. ご当地アイドルの今後の活動を市としてどのように考えているのか。観光PRに同行させる考えはないか。</p>	<p>ご当地アイドル「まちあわせハチ公ガールズ」は、きりたんぽまつり実行委員会のプロデュースにより誕生しましたが、当初の目的であるきりたんぽまつりのPRの枠を超えて、ご当</p>

	<p>地アイドルとして本市のPRに大きく貢献いただいております。</p> <p>しかしながら、メンバーの皆さんは中学生・高校生であり、その本業は学業です。現時点で市の観光PRへの同行を依頼する計画はありませんが、許容される範囲での協力依頼については、今後の課題と考えています。</p>
<p>5. 松下村塾について、利用の仕方が安直ではないか。</p>	<p>竹村吉右衛門氏の遺志を引き継いだ形で寄附を受けた「松下村塾」については、中央図書館敷地内へ移設し、松下村塾を併設する図書館としての一体的・特徴的な利活用や、生涯学習事業に関連した利活用を図ってまいりたいと考えています。</p>
<p>6. 田んぼに排雪されているが、圃場の土壌の性質上、入れられては困る場所がある。土地所有者に連絡してほしい。</p>	<p>道路除雪は、道路両端への振り分け除雪を基本としていますが、あらかじめ承諾をいただいている土地については雪押し場として利用させていただき、それ以外については路肩あるいは道路法面に堆積するなどして道路幅員の確保に努めています。</p> <p>道路に隣接する農地については、除雪によって石やごみの混入が想定されるため、消雪後に現地確認をして支障となった際には除去作業を行うよう指導しているところです。</p> <p>ご指摘の内容については、市内全域において除雪路線に隣接した農地（田）が相当数あるため、個別に現地の実態を確認しながら対応を検討してまいりますので、お手数ですが土木課までご連絡願います。</p>
<p>平成27年11月10日（火）比内公民館</p>	
<p>1. ふるさと納税者を対象とした見学ツアーは考えていないのか。県外の観光客を呼びいれ ては。</p>	<p>本市では、重要施策の一つとして観光客の誘致を掲げているところであり、さまざまな方法により本市への来訪客数を増加させたいと考えています。</p> <p>ふるさと納税は、本市の魅力を発信する有力</p>

	<p>な手段であり、今後、農業体験、きりたんぽづくり体験、曲げわっぱづくり体験など、見学ツアーを含む体験型メニューの旅行商品を提供できるよう、旅行会社と協議するなどし、その実施を検討してまいります。</p>
<p>2. 都市計画税は全国的に廃止の方向なのに時代に逆行している。どこに使われているのか。廃止の方向で考えてほしい。</p>	<p>都市計画税については、平成26年度は街路築造事業費として、街路事業及び比内まちづくり事業の償還金分1億3,946万円5,000円、土地区画整理事業費として、事業費及び償還金分2,588万4,000円に充当させていただきました。平成27年度は、街路築造事業費に約1億2,600万円、御成町南地区土地区画整理事業費に約2,400万円を充当しています。</p> <p>今後、都市計画事業における費用負担の方法を検討していく中で、都市計画税の廃止を含めた税体系の見直し方法や見直し時期について、議会や有識者を含めた検討委員会を設置しながら検討してまいります。</p>
<p>3. 流雪溝について、前市長へ同盟会をつくって要望したところ、河川公園ができれば着工するとのことであったが、まだやっていない。扇田全体をもう一度考えてほしい。長い目で見ればかえって安上がりだと思うので、検討してもらいたい。</p>	<p>扇田地区内には、主要地方道比内田代線沿いに流雪溝が整備されていて、平成26年度には市で揚水ポンプを更新し水量を確保したところであり、当該路線の冬期交通空間の確保と沿線住民の雪対策に効果が上がっています。</p> <p>流雪溝の整備は、取水方法や水量の確保、流末となる放流先の状況が重要であり、また、費用も多額となることから慎重な調査、検討が必要となりますので、当面は雪押し場の確保のや排雪による対策で対応してまいります。</p>
<p>平成27年11月11日（水） 田代公民館</p>	
<p>1. TPPについての取り組みはどうなっているのか。特産物の山の芋、枝豆、とんぶり等、もと大切にしていくなさではないか。</p>	<p>TPPの大筋合意を受け、国においては内閣に「TPP総合対策本部」を、農林水産分野では「農林水産省TPP対策本部」を設置、秋田県においては「秋田県TPP農業対策本部」を設置し、TPPが発効された場合の県農業への</p>

影響分析や県内農家への支援策を検討することとしています。市としましては、国や県による影響試算等の分析や対策の検討結果等の情報収集を行いながら、意欲ある農業者が安心して経営に取り組めるよう必要な対策を検討してまいります。

市の特産物である山の芋、枝豆、とんぶりについては、いずれも重点戦略作物として振興を図ってきたところです。中でも枝豆については、県と全農が生産拡大に取り組んでいて、市においても最重点戦略作物として、生産拡大に必要な機械導入や農産物流通加工センター建設への支援を行うとともに、「大館産えだまめ」の認知度向上による「えだまめのまち大館」の実現へ向けた活動をしてまいりました。また、28年度には大規模な枝豆の園芸団地を整備する計画があります。

山の芋、とんぶり等についても、生産物の付加価値をより高めるためのブランド化や6次産業化に向け、関係団体等と連携を図りながら農業経営のバックアップをしてまいります。

2. 田代地域の芸術文化協会の補助金が年々減ってきており、田代地区文化祭を行うのに苦労している。

限られた財源の中からの補助金交付であり、補助事業の目的や事業効果、団体の状況等、さまざまな角度から検討した上で、個々に補助金額を決定し交付しておりますので、ご理解をお願いいたします。

平成27年11月12日（木）北地区コミュニティセンター

1. 市庁舎について、裁判所裏で景観上、市役所の威風が保てるのか。比内庁舎などの分庁舎を有効活用すべきでは。整合性を説明してほしい。場所についてのパブリックコメントの有効性はあるのか。ビジョンを明確にし、もっと活発な議論を重ねるべきではないか。

「現庁舎及び周辺敷地」の中で、建設費、駐車台数、桂城公園の整備拡張時の影響などを考慮し、「裁判所裏」を建設場所とする計画案を策定しました。桂城公園との一体的な景観形成、駐車場の確保、市役所と公園の利用者の相互利用などを主眼としながら、「裁判所裏」での本庁舎建設を進めてまいります。

	<p>現在、建設部などを置いている比内庁舎（職員数105人）は新庁舎建設後も利用することとし、その分、新庁舎の延べ床面積をできる限り抑えた計画にしています。</p> <p>市では、施策や計画策定などに対する市民の意見を広く募集することで施策等に対する市民参加を進め、その意見を十分検討のうえ意思決定するためにパブリックコメントを実施しています。平成26年8月に基本構想案についてのパブリックコメントを実施し、建設場所に関し市民からさまざまな意見が寄せられました。市で示した配置例3案のいずれかと、詳細をさらに検討して3案の中から決定すればよいとする方を合わせると全体の6割以上となり、この結果を踏まえて市議会での審議や市の新庁舎建設検討委員会で検討し、「裁判所裏」を建設場所としました。</p> <p>今後も基本設計等、建設に向けた各段階において専門的知見を有する外部の有識者や市議会、市民のご意見を伺いながら事業を進めてまいりますので、ご理解と御協力をお願いいたします。</p>
<p>2. 農業用排水、泥上げなどについて、土地改良区と市が連携できないか。</p>	<p>農業用排水路等の農業用施設の維持管理については、受益者が維持管理を行うことが原則です。不具合がある場合は市と土地改良区等が協議し、受益者を特定して維持管理するようお願いしていますので、農林課までご相談ください。</p>
<p>3. 若い人が遊べる場所、イベント、スポーツセンターなどが必要ではないか。</p>	<p>交流人口増加と移住・定住促進のための施策を展開していく中で、いただいたご意見を参考に、若者や学生が集い、交流できるような場についても検討してまいります。</p>
<p>4. 旧花岡線の土手の件、トンネルをつくってほしい。旧小坂線の道路整備について、草刈</p>	<p>旧花岡線の盛土部分へトンネルをとというご要望については、トンネルなどの構造物設置に</p>

<p>りをしてほしい。旧小坂線沿線や駅前の排水施設整備をしてほしい。駅前開発はどうなっているのか。</p>	<p>は多額の費用が必要となりますので、土砂の撤去等による整備手法の検討も含め、周辺の道路状況や土地利用形態を勘案しながら、旧花岡線跡地の利活用を検討してまいります。</p> <p>旧小坂線の草刈りについては、大館駅前から旧代野駅までの区間において、住宅が隣接する箇所は年2回、それ以外の箇所は年1回実施しています。</p> <p>排水施設の整備については、昭和60年策定の排水計画に基づき事業を進めていますが、平成25年8月には大館駅前で大雨による浸水被害が発生するなど、近年は異常気象の影響等による豪雨が頻発していて、気象条件が計画策定時と異なる状況となっています。今後、降雨確率や排水区域内の土地利用状況などを再検討するとともに、放流先となっている米代川をはじめとする河川整備の状況を加味しながら、既存計画の大幅な見直しを進め、整備を検討してまいります。</p> <p>駅前開発については、来年度から秋田県と協働し「あきた未来づくりプロジェクト」事業に取りかかる予定であり、この中で大館駅前の開発を検討することとしています。</p>
<p>5. 御成町四丁目のいとくSC側の通りの除雪について、子どもが歩くときに危険。</p>	<p>ご指摘の周辺は交通量や歩行者も多いため、今後も歩道及び交差点周辺の見通し確保や段差解消など迅速な対応を行ってまいります。</p> <p>また、御成町南地区土地区画整理事業が施行されている、いとくSC西側についても、道路管理者である県と連携しながら安心・安全な歩行者空間の確保に努めてまいります。</p>
<p>アンケート</p>	
<p>1. 駐車場について、文化会館の催し時に駐車場が少ない。桂城公園体育館駐車場を開放してほしい。長木川河川緑地も時間外になると</p>	<p>文化会館の駐車場については、現在、満車となった時点で桂城公園体育館駐車場へ案内するとともに、城南小学校から許可が得られた際</p>

閉めてしまうが、有効活用したらどうか。

には学校敷地内駐車場も案内しています。また、催し物の開催日が土・日曜日の場合、市役所駐車場へも案内しています。

文化会館駐車場の確保は、樹海ドームと同様に最重要と認識していることから、前庭の撤去、立体化などを今後の課題としています。

長木川河川緑地の駐車場については、白鳥広場、多目的広場、デイキャンプ場両岸の計4カ所において、午前8時30分から午後6時まで開放し、夜間は施錠しています。これは、防犯上の措置であり、近隣住民への騒音なども考慮したものであることをご理解願います。

2. 除雪問題について、町なか、中心街の歩道や横断歩道を通れるようにしてほしい。車道だけ除雪されればよいと思わないでほしい。

市では、冬期間における市民生活の安全と道路交通の確保を図るため、道路除排雪計画を策定しています。この中では歩道や通学路の除排雪を優先して行い、安全な歩行者空間の確保に努めることを基本方針として掲げているところです。

26年度は戦後最大級の豪雪となり、交差点周辺や歩道及び通学路において、見通しや歩行に支障をきたした箇所があったことから、これを教訓とし初期除雪や除排雪体制の強化を図っていますので、ご理解をお願いいたします。